

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 幸田町商工会

| 事業名 | 事業概要（背景・目的） | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | | | | 備考 | | |
|-------------|---|--|---------------|------|---------------------------|------|--------------------------|--|------|--------|-----------|-------------------------|--------------------|----------------------|------------|--------------------------------|--------------------------------|--|---|
| | | | | 目標① | | | 目標② | | | 得られた効果 | A B C D評価 | | | | 今後の展開・改善点等 | | | | |
| | | | | 指標 | 目標数値 | 実績数値 | 指標 | 目標数値 | 実績数値 | 総合評価 | 実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | | 目標② | |
| 巡回・窓口相談指導事業 | 経営指導員等の商工会職員が一般的に経営基盤の弱い小規模事業者を中心に事業所へ訪問し、融資等の金融相談・申告時期の税務相談・労務相談等の経営全般に係る様々な相談に対する指導により、企業の経営及び技術の改善が図られ、健全な企業が育成される。このほか、創業も対象とした経営全般に係る相談窓口の設置によって経営改善に資する指導を行う。 | ・巡回窓口指導実企業数 288社 ・巡回窓口指導延件数 652件 ・課題解決提案件数 24件 ・経営計画承認件数 0件 | 小規模事業者 | 指標 | 巡回窓口指導延件数 (達成度 108.7%) | 指標 | 課題解決提案件数 (達成度 120.0%) | 小規模事業者への巡回訪問、窓口指導を行ったことで、経営全般に係る様々な相談に対応するとともに、事業者の課題を掘り起こし、提案指導に結びつけたことで、経営及び技術の改善に繋がった。 | 総合評価 | A | 実施評価 | 自己評価 A 目標達成度 A | 調査結果 事業者への A | 満足度 A 必要性 A | 補足 | 目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり | 目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり | 経営改善に資する多様な施策等が展開されるなか、各事業者が活用し経営力の強化に繋ぐよう全職員体制の巡回窓口指導を行う。 | ○ |
| 記帳継続指導 | 商工会の職員が小規模事業者を対象に記帳方法の指導を行うことにより、適正な経理処理や決算、確定申告ができるようになるほか、自計化により経営内容が把握でき、経営力の向上にも結び付ける。 | ・指導対象者数 99人 ・指導延日数 403日 ・指導延回数 1,100回 ・確定申告受付件数 163件 | 小規模事業者 | 指標 | 記帳指導対象者数 (達成度 99.0%) | 指標 | 確定申告受付件数 (達成度 108.7%) | 経理事務、決算および確定申告の適正な処理と自計化による経営の現状把握に繋がったことで、経営力の向上に結び付いた。 | 総合評価 | A | 実施評価 | 自己評価 A 目標達成度 A | 調査結果 事業者への A | 満足度 A 必要性 A | 補足 | 目標① 下げる 実施方法① 現行どおり | 目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり | 青色申告特別控除の制度変更により国税庁のe-Taxの普及に努める。記帳指導職員が未補充のため記帳指導対象者数の目標数値を下げる。 | ○ |
| 講習会事業 | 小規模事業者に必要な金融・税務・経営・経理・労働・情報化等の知識を習得させるほか、時事的な問題を周知させることにより、事業者の資質の向上と円滑な事業運営を図る。 | 講習会開催回数及び受講者数 ・集団 2回 19人（内、経営革新1回3人） ・個別 10回 48人 計 12回 67人 | 小規模事業者 | 指標 | 講習会等受講者数 (達成度 50.4%) | 指標 | (達成度 %) | 講習会を通じて、小規模事業者が経営に必要な知識を身に付け、経営基盤の安定強化を図ることができた。 | 総合評価 | A | 実施評価 | 自己評価 B 目標達成度 C | 調査結果 事業者への A | 満足度 A 必要性 A | 補足 | 目標① 下げる 実施方法① 現行どおり | 目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり | 経済社会の動向に対して適宜に確かな情報提供の機会を講じることは必要であるため、より多数が参加できる方法を工夫して実施する。講習会の開催を伴走型補助金を活用して実施するため講習会等の受講者数の目標数値を下げる。 | ○ |
| 若手後継者等育成事業 | 町内の小規模事業者（若手経営者・後継者等）を対象に、キャッシュレス決済の導入に係るメリット・デメリットについて適切な理解を促すための情報提供を行うことで、消費増税を機に実施されるポイント還元事業への対応と若手経営者等の育成、経営力の向上を目的として本事業を実施する。 | キャッシュレス決済導入講習会の開催（2回開催） ・参加人数 計21人 ・受講者の満足度 94% | 小規模事業者 | 指標 | 講習会参加人数 (達成度 52.5%) | 指標 | (達成度 %) | キャッシュレス消費者還元事業や補助金について学び、キャッシュレスの全体像やキャッシュレス決済のメリット、デメリットについて知識を習得することができた。若手後継者等の育成と小規模事業者及び地域経済の発展に資する知識の習得および顧客獲得と売上向上への一助となった。 | 総合評価 | B | 実施評価 | 自己評価 B 目標達成度 C | 調査結果 事業者への A | 満足度 A 必要性 A | 補足 | 目標① 上げる 実施方法① 変更する | 目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり | キャッシュレス決済のメリットを活用し、経営力を向上させるための手法や、SNSを活用した販促活動の知識を習得できる実践的な内容で実施する。 | ○ |
| 部会事業 | 商業・工業の各業種に属する会員が、視察研修や経営に関する情報の交換を行うことにより、それぞれの業種及び事業において改善を図る。 | 商業部会・工業部会合同で年2回視察研修を実施 ・参加人数 計34人 | 商工会員 | 指標 | 部会視察研修会参加数 (達成度 68.0%) | 指標 | (達成度 %) | 商業・工業の各業種に属する会員が、視察研修や経営に関する情報の交換を行ったことで、多様な経営事例の共有化が図られ個社の経営改善に繋がる機会となった。 | 総合評価 | A | 実施評価 | 自己評価 B 目標達成度 C | 調査結果 事業者への A | 満足度 A 必要性 A | 補足 | 目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり | 目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり | 経営環境が多様に細分化され情報が氾濫する現状において、地域での経済動向に係る情報交換の機会は必要不可欠であり、継続して実施する。 | ○ |
| 地域振興産業祭事業 | 幸田町が開催する「産業まつり」において、展示・即売会を行い、地域商店及び地域産業の振興・活性化を図る。 | 「産業まつり」の会場となる幸田町民会館の周辺において、展示及び即売会を行った。 ・商工会関係出展者10事業者 | 商工業者 | 指標 | 商工会関係出展者数 (達成度 100.0%) | 指標 | (達成度 %) | 幸田町が開催した「産業まつり」で、展示・即売会を行ったことで、地域商店及び地域産業の振興・活性化が図られた。 | 総合評価 | A | 実施評価 | 自己評価 A 目標達成度 A | 調査結果 事業者への A | 満足度 A 必要性 A | 補足 | 目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり | 目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり | 引き続き、幸田町主催の「産業まつり」で展示・即売会を行うことで、地域商店および地域産業の振興を図っていく。 | ○ |
| 観光振興事業 | 行政、地域諸団体、住民組織等が協調して「彦左まつり」を開催し、地域社会の活性化と地域経済の振興・発展に寄与する。 | 「彦左まつり」（7月28日）幸田駅前沿道にて開催 ・仮装行列等 1,100人参加 ・各種団体の屋台出店 ・来場者数 28,000人 | 参加団体及び駅前地区商業者 | 指標 | 来場者数 (達成度 93.3%) | 指標 | (達成度 %) | 行政、地域諸団体、住民組織等が協調して「彦左まつり」を開催したことで、地域社会の活性化と地域経済の振興・発展に寄与することができた。台風の影響で順延したため、来場者数が目標達成に至らなかった。 | 総合評価 | A | 実施評価 | 自己評価 A 目標達成度 B | 調査結果 事業者への A | 満足度 A 必要性 A | 補足 | 目標① 廃止 実施方法① 廃止 | 目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり | R2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止とする。 | ○ |
| 商店街振興事業 | 平成元年に商店街のイメージアップと町の防犯を目的に建設した街路灯の維持管理及び経理事務を実施する。 | 年2回電灯料および組合費の集金のほか、球切れ、故障等への対応 ・街路灯維持管理本数(79本) ・維持管理事業として79本の街路灯を点検した。 | 商工業者 | 指標 | 街路灯維持・管理 (達成度 95.2%) | 指標 | (達成度 %) | 商店街のイメージアップと町の防犯を目的に建設した街路灯の維持管理を実施したことで、街路灯の点検とともに経年劣化が著しい街路灯を撤去することで安全性が確保された。 | 総合評価 | A | 実施評価 | 自己評価 A 目標達成度 B | 調査結果 事業者への A | 満足度 A 必要性 A | 補足 | 目標① 下げる 実施方法① 現行どおり | 目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり | 年2回電灯料および組合費を徴収し、残存する79本の安全を確保を第一に維持管理を行う必要がある。 | ○ |
| 産業活性化事業 | 地域商店のPR活動、ポイントカード事業及びイベント事業の実施により、地域商店の発展を支援する。 | ・ポイントカード事業の実施（スタンプ回収冊1,951冊） ・イベント事業（お祭り）の実施 ・加盟店 27店 | 商業者 | 指標 | スタンプ回収冊数 (達成度 97.6%) | 指標 | 加盟店数 (達成度 100.0%) | 消費者に対して様々なイベントを開催しスタンプの収集を促し、満点カードの回収に繋がった。また、新規加盟店も2店舗加入し組織力強化を図ることができた。 | 総合評価 | A | 実施評価 | 自己評価 A 目標達成度 B | 調査結果 事業者への A | 満足度 A 必要性 A | 補足 | 目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり | 目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり | 消費者に対する加盟店舗の周知を強化するとともに、加盟店の新規勧誘を継続的にいしスタンプ会の組織強化を図る。 | ○ |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 幸田町商工会

| 事業名 | 事業概要（背景・目的） | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | | | | | 備考 | |
|-----------------|--|---|--------------|------|----------------------|--|-----|----------|--|--|-----------|---|-----------------------------|-----------------------|------------|----|-----------|-----------|---|
| | | | | 目標① | | | 目標② | | | 得られた効果 | A B C D評価 | | | | 今後の展開・改善点等 | | | | |
| | | | | 指標 | 受賞者数 (達成度 73.3 %) | | 指標 | (達成度 %) | | | 総合評価 | A | 事業 実施 評価 の 自己評価 | 事業 者への 調査 結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | | 目標② |
| 雇用促進事業 | 中小企業の永年勤続従業員の功績を称えらるとともに、今後のさらなる能力向上を期待して、従業員の表彰事業を行う。 | 通常総代会時にて、勤続15年以上は愛知県知事賞、勤続10年以上は幸田町長賞、勤続5年以上は幸田町商工会長賞を授与した。 ・表彰者数 11人 | 中小企業に勤務する従業員 | 指標 | 15 実績数値 11 | | 指標 | | | 中小企業の永年勤続従業員の功績を称えたことで、従業員満足度を向上させ、今後のさらなる能力向上が期待できるようになった。 | | | | | | | | 総合評価 | |
| 労働保険事業 | 商工会が労働保険事務等を代行することにより、小規模事業者の事務処理を軽減するとともに、労働保険制度の適用促進、保険料の適正徴収を図る。 | 労働保険料の申告、労働保険料の徴収及び納付、労働保険の諸手続き、労災保険特別加入の申請、雇用保険資格喪失手続きの代行等を行った。 ・新規委託事業所獲得5事業所 | 中小企業等 | 指標 | 5 実績数値 5 | | 指標 | | | 労働保険事務等の代行を通して、小規模事業者の事務処理負担の軽減化が図られたと同時に労働保険制度の適正な徴収に結び付いた。 | 総合評価 | A | 事業実施評価の自己評価 A | 事業者への調査結果 | 満足度 A | 補足 | 目標① 現行どおり | 目標② | 働き手の減少が懸念されるなか、労働環境の適正化を図ることで、雇用の維持確保に繋げていく。 |
| 青年部・女性部事業 | イベントへの参加や奉仕活動などを通じて、町民とのふれあい、地域との関わりを持つことにより地域社会の発展に寄与する。また、経営に必要な知識の修得や資質の向上を図るための講習会・研修会・視察等を開催し、小規模企業の振興・発展を図る。 | 部員増強活動、商工会・行政主催のイベントへの参加、奉仕活動、他商工会青年部との交流、部員間の交流事業、部員の資質向上を図るための研修会を実施した。 ・新入部員加入数 青年部4人、女性部3人 | 青年部・女性部部員 | 指標 | 3 実績数値 4 | | 指標 | 2 実績数値 3 | | 地域イベントへの参加、親睦会の開催により部員相互の交流が促され、組織基盤の強化に繋がった。講習会や視察研修会等を通して経営に必要な知識の習得と資質の向上を図ることができた。 | 総合評価 | A | 事業実施評価の自己評価 A | 事業者への調査結果 | 満足度 A | 補足 | 目標① 現行どおり | 目標② 現行どおり | 現青年部員に声掛けをしてもらい、各イベントに参加のしやすい環境作りをしていく。 |
| 福利厚生事業 | 中小企業共済制度、愛知火災共済、特定退職金共済、小規模企業共済、中小企業倒産防止共済等の普及推進を行うことにより、中小企業者の福利厚生の増進及び経営の改善に寄与する。 | 巡回・窓口相談時に各種共済制度を紹介するほか、商工会報に適宜広告を掲載し、新規加入・増口事業所の30件以上の獲得と普及推進に努めた。 獲得件数51件 (内新規46件、増口5件) | 商工業者 | 指標 | 30 実績数値 51 | | 指標 | | | 各種共済を推進したことで小規模事業者の福利環境整備に繋がった。 | 総合評価 | A | 事業実施評価の自己評価 A | 事業者への調査結果 | 満足度 A | 補足 | 目標① 現行どおり | 目標② | 巡回・窓口相談時に各種共済制度を紹介するほか、商工会報に適宜広告を掲載し、新規加入・増口事業所の獲得のため普及推進に全職員が努める。 |
| 福利厚生事業（ボウリング大会） | 会員事業所の従業員等を対象にスポーツ大会を実施し、相互間の親睦融和を図るとともに、従業員等の健康管理と雇用の維持に寄与する。 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止 | 会員事業所・従業員等 | 指標 | 70 実績数値 0 | | 指標 | | | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止 | 総合評価 | D | 事業実施評価の自己評価 D | 事業者への調査結果 | 満足度 中止 | 補足 | 目標① 廃止 | 目標② | 会員事業所の従業員等を対象に実施し、従業員満足度と健康増進を図る事業として実施するが、福利厚生事業（前項）に一本化するため目標等を廃止する。 |
| 税務関係団体指導事業（法人会） | 中小企業者に対し、健全な納税意識の醸成を図ること、企業育成と申告納税制度の適正化に寄与する。 | ・研修会・講習会等の開催 ・幹事会の開催 ・新規会員数 5事業所 | 商工業者 | 指標 | 5 実績数値 5 | | 指標 | | | 中小企業者に対し、健全な納税意識の醸成を図ったことで、企業育成と申告納税制度の適正化に寄与できた。 | 総合評価 | A | 事業実施評価の自己評価 A | 事業者への調査結果 | 満足度 A | 補足 | 目標① 現行どおり | 目標② | 健全な納税意識の醸成を図り、申告納税制度の適正化に寄与することで、企業の社会貢献に資する事業とする。 |
| 産業団体指導事業 | 各種産業団体に対して、経営改善に関する指導の一環として経営に関するノウハウの情報交換を通して経営環境の整備と向上に資する活動を行うとともに地域の活性化を図る。 | 額田郡建設業組合 岡崎労働基準協会 異業種交流事業 講習会開催回数 5回、参加者数 84人 | 小規模建設事業者 | 指標 | 75 実績数値 84 | | 指標 | | | 各種産業団体に対して、経営に関する講習会や情報交換を行ったことで、産業団体の経営環境の整備に資する活動となった。 | 総合評価 | A | 事業実施評価の自己評価 A | 事業者への調査結果 | 満足度 A | 補足 | 目標① 下げる | 目標② | 各種産業団体に対して、経営改善に関する指導の一環とした集団指導を継続的にを行い、地域産業の振興を図る。異業種交流事業の解散により講習会参加者数の目標数値を下げる。 |
| 健康普及事業 | 中小企業、小規模企業の経営の安定及び雇用の維持を図るため、事業主及び従業員の健康診断事業を実施する。 | ・12月7日より実施 ・事業参加者 104名 | 小規模事業者 | 指標 | 90 実績数値 104 | | 指標 | | | 目標より14名増の受診者数を達成したことから、前年以上に中小企業、小規模企業の雇用の安定に資する事業となった。 | 総合評価 | A | 事業実施評価の自己評価 A | 事業者への調査結果 | 満足度 A | 補足 | 目標① 現行どおり | 目標② | 労働環境に対する社会的関心が高まる情勢下において雇用安定化に資する当該事業を周知し、より多くの受診者を確保できる体制を整備する。 |
| 商談会事業 | 幸田町内商工業者の事業拡大の一助として、商談会・情報交換会を開催することにより、各事業所の事業の活性化及び地域経済の活性化を図る。 | 1月15日に幸田町民会館にて親睦会を兼ねた商談会・情報交換会を実施 ・参加者数 85名 | 商工会員 | 指標 | 90 実績数値 85 | | 指標 | | | 幸田町内商工業者間で商談・情報交換を行ったことで、各事業所の事業の活性化及び地域経済の活性化に繋がる機会となった。 | 総合評価 | A | 事業実施評価の自己評価 A | 事業者への調査結果 | 満足度 A | 補足 | 目標① 現行どおり | 目標② | 幸田町内の地域経済の活性化に資する重要な機会として、より多くの参加者が参加できるよう配慮しながら開催する。 |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。